



## 平成21年度完成 優良工事等(千曲川河川事務所関係)の選定結果について

千曲川河川事務所関係の優良工事等について下記のとおり選定されましたのでお知らせします。

※優良工事等の表彰は、北陸地方整備局所管の工事等に関し、その施工及び成果が特に優秀であって、他の模範となるものを選定し、表彰することにより、建設技術の向上と建設事業の推進に役立てることを目的として行っているものです。

### 優良工事(局長表彰)

請負者名	工事名
株式会社 北條組	替佐築堤護岸及び樋門その他工事

### 優良工事(事務所長表彰)

請負者名	工事名
株式会社 栗木組	稲荷山環境整備その他工事

### 優良委託業務(事務所長表彰)

請負者名	業務名
財団法人 リバーフロント整備センター	千曲川河川生態学術研究検討業務

### 優良建設技術者【工事】(局長表彰)

技術者名	請負者名	業務名
永田 広海	株式会社 北條組	替佐築堤護岸及び樋門その他工事

### 優良建設技術者【業務委託】(事務所長表彰)

技術者名	請負者名	業務名
丸岡 昇	財団法人 リバーフロント整備センター	千曲川河川生態学術研究検討業務

### 優良工事における下請者(事務所長表彰)

下請負者名	工事名
飯山陸送株式会社	替佐築堤護岸及び樋門その他工事

### 優良工事における下請者の専任技術者(事務所長表彰)

技術者名	請負者名	工事名
吉越 道広	飯山陸送株式会社	替佐築堤護岸及び樋門その他工事



事務所長表彰の表彰式は、  
平成22年7月23日(金) 11:00～12:00  
千曲川河川事務所大会議室(長野市鶴賀峰村74 Tel026-227-7611)  
にて行われます。

問い合わせ先  
国土交通省北陸地方整備局千曲川河川事務所  
副所長(技術) 白井 正己  
品質確保課長 中川 毅志  
電話026-227-7611  
<http://www.hrr.mlit.go.jp/chikuma/>

平成21年度完成 優良工事 [局長表彰]

請負者	株式会社 北條組	事務所名	千曲川河川事務所
	代表取締役 北條 高巳	工期	平成21年 3月 4日 ～ 平成22年 2月26日
	長野県長野市大字村山348番地 1	請負金額	218,925千円
工事名	替佐築堤護岸及び樋門その他工事	工事場所	長野県中野市豊津地先
工事内容	築堤延長 約920m 盛土 約25,500m <sup>3</sup> 樋門 1基 コンクリート橋 L=30m    取付道路 L=76m		
選定理由	<p>本工事は延長約920m、盛土量約25,500m<sup>3</sup>の築堤工事である。                  施工過程においては他工事の発生残土を受け入れ築堤を行うため他工事の搬出計画と自社の工程との調整が必要な工事であり、搬出元の予定変更毎に工程の見直しを余儀なくされたが積極的かつ綿密な調整と工程管理に努め、工期内に工事を完成させた。</p> <p>地域との関わりでは、回覧文書・対話等によりトラブル回避と工事進捗を図るため積極的に地域とのコミュニケーションに努め、地元が計画した堤防竣工式・橋渡り初め式の期日を厳守し作業を完了させ、更には行事に係る資材・人的な協力も高い地域から感謝された。</p>		
			

平成21年度完成 優良工事 [事務所長表彰]

請負者	株式会社 栗木組	事務所名	千曲川河川事務所
	代表取締役 栗木 悦郎	工期	平成21年 7月25日 ～ 平成22年 3月22日
	長野県上田市長瀬3918番地	請負金額	124,110千円
工事名	稻荷山環境整備その他工事	工事場所	長野県千曲市大字八幡地先他
工事内容	親水水路 1式、根固め工 1式、覆土工 1式、高水敷造成 1式		
選定理由	<p>本工事は「千曲市水辺の楽校」の造成と根固め工の工事である。既設の親水ワンドは水が滞留しているため、夏期には藻類が繁茂し親水性が失われていたことから、親水性を回復するため、根固め工を利用し、ワンドに湧水を導く事を考えた工事である。請負者は、工事の目的を理解し、工事に先立ち坪掘りを行い湧水の確認、施工工程の工夫、新技術の導入などを積極的に行い 伏流水の導入に成功し 所期の目的を達成したほか、無事故で工事を完成させたものである。</p>		
 			

平成21年度完成 優良委託業務 [事務所長表彰]

請負者	(財) リバーフロント整備センター 理事長 竹村公太郎 東京都中央区新川1丁目24号	事務所名	千曲川河川事務所
		業務名	千曲川河川生態学術検討業務
		工期	平成20年 9月30日 ～ 平成22年 3月26日
		請負金額	72,240千円
選定理由	<p>本業務は、千曲川中流域を対象に「インパクトレスポンスにより形成維持される河川中流域の生態系の解明」をテーマとして、河道掘削前後のモニタリング調査を実施し、調査・研究成果をとりまとめるとともに、アレチウリやハリエンジュなど外来種対策を目的に自然再生事業として高水敷掘削を実施する戸倉地区等において、掘削形状検討のため平面2次元不定流解析を実施し、河道掘削による平面への影響及び物理環境変化と生物群集の対応を予測し、掘削高及び平面形状を決定し、治水、環境両面からの妥当性を検証、評価する実証をした。その結果、河川冠水頻度を高めることで繁殖抑制を可能とする技術確立と樹木管理基準を設定することができた。</p> <p>本成果は、生態環境に配慮した河道管理技術として全国の先駆けとなる先進技術を確立した業務として高い評価ができる。</p>		

平成21年度完成 優良建設技術者(工事) [局長表彰]

技術者	永田 広海 (監理技術者)	事務所名	千曲川河川事務所
		工事名	替佐築堤護岸及び樋門その他工事
		工事場所	長野県中野市豊津地先
	株式会社 北條組	工期	平成21年 3月 4日 ～ 平成22年 2月26日
	長野県長野市大字村山348番地1	請負金額	218,925千円
工事内容	築堤延長 約920m 盛土 約25,500m <sup>3</sup> 樋門 1基 コンクリート橋 L=30m    取付道路 L=76m		
選定理由	本工事は千曲川における無堤解消のための築堤工事である。 本工事箇所は2箇所であり、築堤材料は4箇所その他工事からの残土を使用するもので搬出元の工事工程による本工事進捗への影響を受ける条件下であった。監理技術者は精力的に調整連絡を行い、綿密な施工計画と工程管理に積極的な姿勢で工事を無事故で完成させた。		
			

平成21年度完成 優良建設技術者(業務) [事務所長表彰]

技術者	丸岡 昇	事務所名	千曲川河川事務所
	(管理技術者)	業務名	千曲川河川生態学術検討業務
	(財)リバーフロント整備センター	工期	平成20年 9月30日 ～ 平成22年 3月26日
	東京都中央区新川1丁目24号	請負金額	72,240千円
選定理由	<p>本業務は、千曲川中流域を対象に「インパクトレスポンスにより形成維持される河川中流域の生態系の解明」をテーマとして、河道掘削前後のモニタリング調査を実施し、調査・研究成果をとりまとめたものであり、河川冠水頻度を高めることで繁殖抑制を可能とする技術確立と樹木管理基準を設定することができた。当技術者は、管理技術者として2年の長期間に渡る調査の工程管理を行い千曲川研究グループ<sup>○</sup>複数委員の意見調整を正確かつ迅速に進め業務初期の目的である生態環境に配慮した河道管理技術を全国の先駆けとして確立した高い技術力を有する。</p>		

平成21年度完成 優良工事における下請負者 [事務所長表彰]

下請負者名	飯山陸送株式会社 代表取締役 勝山 一成 飯山市大字静間280-1	事務所名	千曲川河川事務所
		工期	平成21年 3月 4日 ～ 平成22年 2月26日
工事名	替佐築堤護岸及び樋門その他工事	工事場所	長野県中野市豊津地先
専門工事業	とび・土工工事業		
工事内容	河川土工 河道掘削工 一式 築堤盛土工 一式 法面整形工 一式		
選定理由	<p>本工事における築堤用土砂材料は複数箇所からの受入れであり日々毎に変わることも多かったが、土砂ごとの転圧回数などの作業前打合せを入念に行いその内容を手帳に記入し間違えが無いよう施工し、また終業時の搬入土砂は必ず仮押さえをし、降雨に備える等締固密度に対する配慮があった。その結果すべての締固度は規格値85%を満足し、現場目標値の90%に対平均92.6%であり品質管理は満足できるものであった。またコンクリート構造物の埋戻・摺付け盛土も多く法面整形等に苦勞したが、良質な技量と経験により損傷なく見栄え良く仕上げることができ、社内規格値による出来形も過不足なく良好であった。(例;基準高 平均+7mm) また地元への配慮としてバックホウによる振動騒音が無いよう作業する姿勢が感じられまた地域の方々への対応もよかった。</p>		

平成21年度完成 優良工事における下請負者の専任技術者 [事務所長表彰]

技術者	吉越 道弘 (主任技術者)	事務所名	千曲川河川事務所
		工事名	替佐築堤護岸及び樋門その他工事
	飯山陸送株式会社 飯山市大字静間280-1	工事場所	長野県中野市豊津地先
		工期	平成21年 3月 4日 ～ 平成22年 2月26日
専門工事業	とび・土工工事業		
工事内容	河川土工 河道掘削工 一式 築堤盛土工 一式 法面整形工 一式		
選定理由	<p>本工事における築堤用土砂材料は複数箇所からの受入れであり日々毎に変わることも多かったが、土砂ごとの転圧回数などの作業前打合せを入念に行いその内容を手帳に記入し間違いが無いよう施工し、また終業時の搬入土砂は必ず仮押さえをし、降雨に備える等締固密度に対する配慮があった。その結果すべての締固度は規格値85%を満足し、現場目標値の90%に対平均92.6%であり品質管理は満足できるものであった。またコンクリート構造物の埋戻・摺付け盛土も多く法面整形等に苦労したが、良質な技量と経験により損傷なく見栄え良く仕上げることができ、社内規格値による出来形も過不足なく良好であった。(例;基準高 平均+7mm)また地元への配慮としてバックホウによる振動騒音が無いよう作業する姿勢が感じられまた地域の方々への対応もよかった。</p>		